

# 台風の名目 台頭の芽

東京都議選（7月2日投票）まで3カ月を切り、各党の攻防が激しくなっている。台風の名目、小池百合子都知事を中心とする地域政党「都民ファーストの会」。小池氏の圧倒的な人気を背景に、他党の議員らを次々に吸収し、単独過半数も視野に入れる。ただ具体的な政策はまだ見え、どこまで伸びるかは不透明だ。

## 小池新党

都民ファーストが公表した公認予定者（8日現在）

政治経験なし
公認会計士、税理士、フジテレビ社員、元衆院議員秘書、東芝社員ら7人
自民から 都議、都内の区議、市議 ら11人
民進から 前都議ら4人
「自民から」「民進から」「はど」「自民から」「民進から」「はど」「自民から」「民進から」「はど」

## 移籍次々 政策は見えず

小池氏とのツイショットのボスターに、「都民ファースト」の文字が躍るのほり。都民ファーストから立候補する予定の伊藤悠・前都議はその横で、平日の朝と夕、マイクを握る。

伊藤氏は民主党都議（目黒区）を2期務め、2013年に落選。今年になって都民ファーストに入った。「小池知事を応援しているから」と声をかけてくれる人が相当いる。手応えは

## 都議選に向けて

都政を安定的にスピーディーに進めるためには、（都議会）の過半数の方々のご理解いただける勢力であるというは当然の話



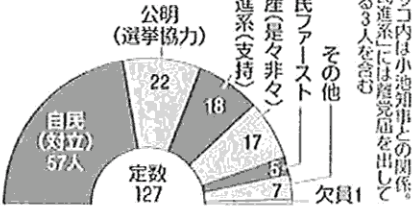
小池百合子知事

（都議選で単独過半数を狙うのかとの報道陣の質問に）一般論としては、いま記者がおっしゃられたことは目指していきたい



野田敦 都民ファースト代表

## 都議会の勢力



非常にいい。いま、他党の地方議員らが都民ファーストに移る動きが加速している。民進では都議選の公認予定者36人中7人が離党届を出し、4人が都民ファーストから出馬する。先月以降、民進都議3人も離党を届け出た。民進を支える連合東京も7日、都民ファーストとの連携を発表した。都議選で

民進からの移籍者を推薦する。民進が低迷するなか、都政への影響力を保つための異例の判断だ。豊洲市場を巡る問題などで小池氏と対立する自民からも2月、都議2人が移籍した。都民ファーストが公表済みの公認予定者25人中11人は、自民から移った都議や区市議らだ。一方、公明も3月に都民ファーストとの選挙協力を決めた。

求心力を支える小池氏の人気は衰えを見せない。都内の有権者を対象に朝日新聞が今月実施した世論調査では、小池氏の支持率は74%に達した。都民ファーストは、小池氏が主宰する政治塾の運営団体だったが、1月に地域政党に衣替えした。代表は野田敦・元都議が務め、小池氏は役職に就いていない。都議会での勢力は定数127に対して5人のみ。だ

が、野田氏は「単独過半数を目指したい」と公言する。その一方で都民ファーストの政策は不透明だ。「東京大改革」を訴える小池氏は8日、報道陣に都議選の意味を問われ、「これまで通りでいいの、東京を変えたいのか。そういう選択を問うものになる」と述べた。だが、具体的な政策や公約はまだ出しておらず、作成中という。

## 翻弄される既成政党

都民ファーストの動きに、既成政党は翻弄されている。都議選公認予定者らの「離党ドミノ」が続く民進党は、離党届の扱いに苦慮している。本来なら「除名が筋」（松原仁・党都連会長）だが、都議選後に離党者が次期衆院選の民進候補に協力することに期待を寄せているためだ。党執行部の一人は「生き残りが最優先。離党した人にも推薦

をすべきだ」と事実上、離党を容認する姿勢を示す。民進の議席が減っても、「民進」が議席を維持できれば、東京選出参院議員でもある連発代表の責任問題も回避できるとの思惑も見え隠れする。